

## 学長定例記者会見要項

日 時： 平成30年8月2日（木） 11:00～11:45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

### 発表事項

1. 旧制山形高校時代の歴史資料の再発見  
～学校設置時の市民からの寄附申込書と出陣学徒名簿～
2. 基礎科学研究で生まれた技術シーズが産業化へ  
～銀ナノ微粒子インクの量産化～
3. イノベーションジャパン2018に出展します  
～環境調和型排水処理の最新プロセスなどを紹介～

### お知らせ

1. 人文社会科学部公開講座を開催します  
～「新聞記事で読み解く法律問題－法律って意外と面白いかも」～
2. アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始
3. 東北6県の大学・短大によるシンポジウムを開催します  
～東北地方にある大学短大の魅力的な教育の取組～
4. 高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました
5. やまがた夜話の開催について

### (参 考)

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：平成30年9月6日（木） 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

## 学長定例記者会見（8月2日）発表者

### 1. 山形大学の歴史資料の紹介

学 長

こやま きよひと  
小山 清人

小白川キャンパス長

たまた ひでとし  
玉手 英利

ふすま同窓会 会長

のむら かずよし  
野村 一 芳

### 2. 基礎科学研究で生まれた技術シーズが産業化へ ～銀ナノ微粒子インクの量産化～

理学部長

たまた ひでとし  
玉手 英利

### 3. イノベーションジャパン 2018 に出展します ～環境調和型排水処理の最新プロセスなどを紹介～

学術研究院 准教授（バイオマス資源学）

わたなべ まさのり  
渡辺 昌規

米沢キャンパス事務部研究支援課副課長

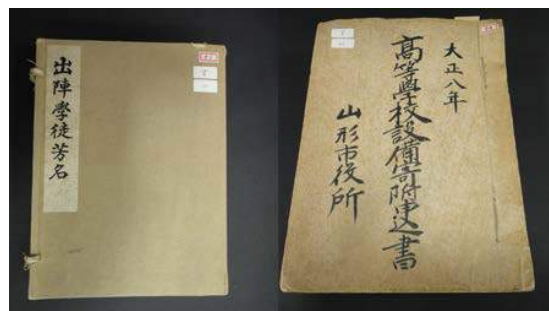
ひぐち ひろお  
樋口 浩朗

平成30年（2018年）8月2日

## 旧制山形高校時代の歴史資料の再発見 ～学校設置時の市民からの寄附申込書と出陣学徒名簿～

### 【本件のポイント】

- 山形大学の前身、旧制山形高等学校に関する貴重な歴史資料が見つかりました。
- 今回確認された資料は、高等学校設備寄附申込書（大正8年）、出陣学徒芳名簿（昭和18年）の2点です。



### 【概要】

第2次世界大戦後、旧制山形高等学校が閉校した時に、旧学校資料の多くは廃棄されましたが、貴重な資料の数点が、同窓会組織で保存されていました。今回、山形高等学校設立百年記念祭（2020年予定）の準備をする中で数点の歴史資料の存在が明らかになりました。

大正8年(1919年)の資料「高等学校設備寄附申込書」では、山形高等学校の設立準備金をまかなう寄附金として、山形市民622名が山形市長あてに総額208,115円の寄附を行った内容（寄附者の氏名、住所、寄附金額等）が記録されています。昭和18年(1943年)の資料「出陣学徒芳名簿」では、第一陣の学徒出陣で出征した文系クラス学生26名の氏名が記載され、写真とともに各人の一言が書かれています。

### 【背景】

山形高等学校は大正9年（1920年）に設立され、昭和24年（1949年）の学制改革で新制山形大学に包括されて、文理学部（現在は人文社会科学部・理学部）の母体となりました。関連する同窓会組織は「ふすま同窓会」と称し、旧制（山形高等学校）・新制（山形大学文理学部・人文学部・人文社会科学部・理学部および関連大学院）の卒業生が会員となっています。

### 【経緯】

新制山形大学への移行期に、山形高等学校の書類は多くが廃棄されました。その中で特に貴重な資料については、旧制高校から新制大学に引き続き勤務することになった事務職員が回収して、約69年間にわたりふすま同窓会で保存されてきました（当時の事情を知る同窓会関係者の話）。これらの資料については、本学の図書目録や山形大学歴史資料一覧等には記載されておらず、公の場で存在が明らかにされるのは、今回が初めてです。

ふすま同窓会の百年記念祭（2020年開催予定）の準備について、本学関係者と同窓会が連絡をとりあうなかで、今回の資料も含めた数々の歴史資料の存在が初めて確認されました。

高等学校設備寄附申込書には、書き込みがあることから、一部の専門家には存在が知られていたものと推察されます。出陣学徒芳名簿とともに、本学の歴史を知るための貴重な一次資料ですが、いずれの資料についても出版物等での引用例は確認されておりません。

### 【資料からわかること】

<高等学校設備寄附申込書について>

大正8年に小鷹鋭健山形市長に提出された山形市民の寄附申込書を綴じた文書です。記載された一人あたりの寄附金額は当時のお金で10円以上、中には数千円のものもあり、即時払いから数年にわたる分納まで、様々な形で寄附が行われたことが読み取れます。山形市民からの寄附金は当初計画の20万円を大幅に上回り、最終的には436,999円となりました（注1）。今回発見された資料では、寄附金総額が208,115円となっているため、寄附者の一部であると考えられます。

山形高等学校を設置するために、学校敷地取得と校舎建設などの費用として79万5千円が必要とされました。

この費用をまかなうために、当初計画では県からの資金提供と山形市民からの寄附金に加えて、県下の資産家有志から20万円、残りは県税として一戸あたり42銭8厘を賦課する方針でした。しかし、山形市民からの寄附金が当初目標を大幅に上回ったため、県税の賦課は大幅に軽減されました。

大正8年頃と現在の物価等を比較すると、白米などの生活物資は約1000倍、公務員初任給や国立大学授業料は約10000倍になっています(注2)。これらを参考にして、山形市民からの寄附金を現在の貨幣価値に換算すると約44億円、設置費用総額は約80億円に相当すると考えられます。

#### <出陣学徒芳名簿について>

山形高等学校には文科と理科でそれぞれ2クラスがあり、当時の文系1クラスの学生数は約40人でした。山形高等学校からの学徒出陣は、昭和18年と昭和19年の2回にわたり行われたと推定されますが、記録資料がないためこれまで出陣学生の氏名等は確認できませんでした。今回発見された資料には、昭和18年当時に山形高等学校長だった西澤富則先生の署名があり、第一回の学徒出陣に関するものと考えられます。本資料には、文1及び文2クラスの学生26名が、一人ずつ正面を向き、武運長久などの寄せ書きをした襷をかけて撮影した写真と、各人の思いを述べた一言が付けられています。なお、第一陣で出征した学生は37名であることが、別な資料(注3)で記載されています。

### 【今後の展望】

今回確認された歴史資料は、本学の過去を顧みるだけでなく、未来を考えるうえで必要となる貴重な資料となるものです。今後、山形高等学校をはじめ、本学の母体となった旧制の各学校や出陣学徒などに関する資料等についても、引き続き調査を進めていきたいと考えています。また、戦前の学校資料については、県民の皆様にも情報提供のご協力をお願いしたいと考えております。

#### ※参考資料

注1 「山形高等学校・山形大学文理学部五十年史」 山形大学 昭和45年

注2 「値段史年表 明治・大正・昭和」 朝日新聞社 昭和63年

注3 「創立40年誌 山形高等学校 山形大学文理学部」 山形高等学校40年記念会 昭和35年

#### ※関係連絡先

ふすま同窓会 住所 990-0034 山形市東原町1-9-4

電話番号・FAX 023-633-9927 (電話は祝日除く月・水・金曜日のみ対応可)

URL: [www4.plala.or.jp/fusuma/](http://www4.plala.or.jp/fusuma/)

お問い合わせ

山形大学広報室

TEL 023-628-4008

メール [koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

94

大正八年

高等學校設備寄附建込書

山形市役所

45

高等學校設備費寄附申込書

一金四拾圓也

但本年度ヨリ大正拾貳年度迄五

毎年四月貳拾日限金八圓ケ年賦トシ宛分納ノ事

右寄附致度此段申込候也

(居所)

大正八年三月四日

(氏名)

山形市長 小鷹 銳 健 殿



出陣學徒芳名

51

資

11

慶祝出陣  
祈武運長久

昭和十八年十一月吉日

山形高等學校長

西澤富則



文二ノ一



文二ノ一

平常心是道





文二ノ二



闘魂ニ燃ス

文二ノ二



共國家生永遠

文二ノ二



至誠一貫

文二ノ二

斃而後尚不已

平成30年（2018年）8月2日

## 基礎科学研究で生まれた技術シーズが産業化へ

### ～銀ナノ微粒子インクの量産化～

#### 【本件のポイント】

- 銀ナノ微粒子の量産化により、プリントドエレクトロニクス<sup>(※1)</sup>の社会実装が加速化。
- 理学部で生まれた特許技術が産業イノベーションに貢献。



#### 【概要】

本学では、学術研究院 栗原正人教授（化学／理学部担当）が中心となって開発した「シュウ酸銀錯体熱銀分解による銀ナノ微粒子合成法」に関する単独特許を国内外で複数保有しています。この特許技術群を産業イノベーションに繋げる新しい産学連携システムとして、2012年から「ナノメタルスクール」<sup>(※2)</sup>を発足させ、25社を超える関連企業とともに研究を推進し、産業化を加速させてきました。

このたび、ナノメタルスクールの参画企業である株式会社ダイセルが銀ナノ微粒子インクの量産設備を新設します。製品化される銀ナノ微粒子インクは、主にプリントドエレクトロニクス（電子デバイスの回路等を印刷で形成する工法）に使用され、また、新設される量産設備は、年間数トンの生産能力を持ちます。これまで、エレクトロニクスデバイスを中心に次世代材料として、その産業応用が期待されながらも、高性能な銀微粒子の量産化は難しいとされてきました。今回、それを克服できる特許技術が本学から生まれたことにより、基礎科学研究の重要性が改めて認識されるとともに、プリントドエレクトロニクスを始めとするエレクトロニクスデバイスに向けた産業イノベーションが加速化されるものと期待されます。

#### 【研究手法・背景・研究成果】

本学では、基礎科学研究として「機能物質化学」を通じた産業基盤に資する技術創生への挑戦的研究を積極的に推進してきました。中でも、「ナノ材料化学」への高い実績とその強みを生かしたその代表的な研究例として、「ナノメタルスクール」があります。本学では、栗原正人教授（化学）が中心となって開発した「シュウ酸銀錯体熱銀分解による銀ナノ微粒子合成法」に関する単独特許を国内外で複数保有しており、この特許技術群を産業イノベーションに繋げる新しい産学連携システムとして、2012年に発足した「ナノメタルスクール」では2016年までに、25社を超える関連企業が集まり、産業化を加速させてきました。

また、当該技術は、2013年からは、国立研究開発法人・科学技術振興機構(JST)による「プリントドエレクトロニクス用電極材料に関する特許群」支援も受けています。

このたび、ナノメタルスクールの参画企業である株式会社ダイセルは、新井工場（新潟県妙高市）に銀ナノ微粒子インクの量産設備を新設します。2018年10月完成、2019年1月に稼働開始予定のこの設備は、年間数トンの生産能力を持ち、主にプリントドエレクトロニクスに使用される銀ナノ微粒子インクを生産します。

#### 【今後の展望】

粒子の大きさがナノメートル～サブミクロンサイズでの制御された銀微粒子は、エレクトロニクスデバイスを中心に次世代材料として、その産業応用が期待されてきました。一方、こうした新しいテクノロジー分野で利用される高性能な銀微粒子は、これまで量産化が難しかったことから、それが産業イノベーションに向けた展開への障害になっていました。これを克服できる特許技術が本学から生まれたことにより、理学部が取り組む基礎科学研究の重要性が改めて認識されるとともに、プリントドエレクトロニクスを始めとするエレクトロニクスデバイスに向けた産業イノベーションが加速化されるものと期待されます。

学術研究院教授（化学／理学部担当） 栗原 正人  
TEL 023-628-4606 メール kurihara@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

## ※用語解説

1. プリンテッドエレクトロニクス：ナノ（10億分の1）～サブミクロン（100万分の1）メートルでの粒子サイズ制御された銀微粒子が100°C以下で低温融着する現象を利用した微細な銀導電配線技術、特に、溶剤に高濃度で分散した銀ナノ微粒子インク（写真）を用いれば、印刷技術でエレクトロニクスデバイス電極回路を低温・簡便に作製することができます。

2. ナノメタルスクール：プリンテッドエレクトロニクス分野における国際競争力の強化のために、原料からデバイスまでバリューチェーンに属する各分野の企業が協力して構築した独自の研究開発体制。銀ナノ微粒子に関する山形大学の特許出願技術を基盤とし、これまでの国内の大学や研究所では例をみない新しい産学連携システムとして、2012年に発足。2016年までに25社を超える関連企業が集結して、産業化を推進した。

<参考> 株式会社ダイセル <https://www.daicel.com/news/index.php?act=detail&id=654>

平成30年（2018年）8月2日

## イノベーション・ジャパン2018に出展します ～環境調和型排水処理の最新プロセスなどを紹介～

### 【本件のポイント】

- 国内最大級の産官学連携イベントである「イノベーション・ジャパン2018（主催：JST、NEDO）」にて採択された山形大学の最新の研究成果2件を出展します。
- 渡辺昌規 学術研究院准教授（バイオマス資源学）は、低コスト・省スペース、ゼロエミッション等環境性能を兼ね備えた新規排水処理技術を紹介いたします。
- 金澤等客員教授（高分子化学）は、航空機の革新的な軽量化など様々な分野で活用が期待されている「異種材料の接着技術」を紹介いたします。



### 【概要】

2018年8月30日から2日間、東京ビッグサイトにて開催される「イノベーション・ジャパン2018（主催：JST、NEDO）」にて採択された山形大学の最新の研究成果2件を出展します。本イベントは国内最大級の産官学連携イベントであり、山形大学の出展は今年で10回目を数えます。

渡辺昌規 学術研究院准教授（バイオマス資源学）は、従来の微生物プロセスや濾過、凝集剤に依存したプロセスよりも低コスト且つ、エネルギーを要しない、新規環境調和型排水処理プロセスのメカニズム、さらに、本プロセスにより回収された排水中デンプン粒子の再資源化について紹介します。

金澤等客員教授（高分子化学）は、航空機の革新的な軽量化など様々な分野で活用が期待されている「異種材料の接着技術」を紹介し、技術を応用した「水を吸うプラスチック」他、あっと驚く製品等を展示します。

### 【イノベーション・ジャパン 2018 ～大学見本市&ビジネスマッチング～】

1. 開催日時 2018年8月30日（木） 9：30～17：30  
8月31日（金） 10：00～17：00
2. 展示会場 東京ビッグサイト 西展示棟 西1ホール（東京都江東区有明3-11-1）
3. 本学展示 ●渡辺昌規 学術研究院准教授（バイオマス資源学）  
「環境調和型プロセスによる茹で麺排水処理技術と排水成分の再資源化技術の開発」  
●金澤等 客員教授・福島大学名誉教授（高分子化学）  
「金属、プラスチック、ゴム、高強度繊維を普通の接着剤で接着—新しい材料で軽量化！」
4. 詳細 <https://www.ij2018.jp/index.html>（イノベーション・ジャパン2018 HP）

#### お問い合わせ

米沢キャンパス事務部 研究支援課 研究支援担当（樋口、山川）  
TEL 0238-26-3004 メール koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

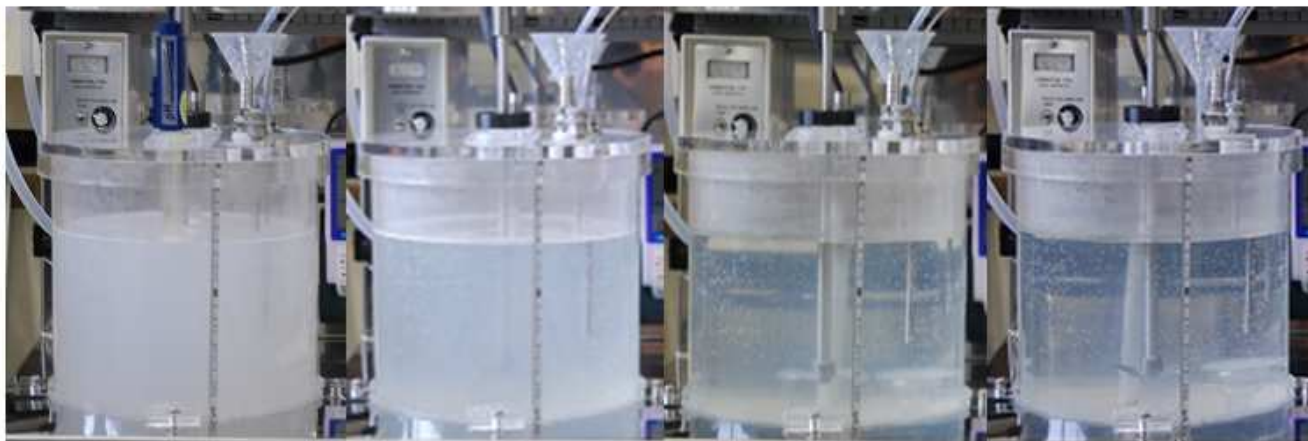


# “環境調和型プロセスによる澱粉含有排水の 浄化と排水成分の再資源化技術”

茹で麺排水浄化試験

山形大学学術研究院  
准教授（バイオマス資源学）

渡辺昌規（わたなべまさのり）



原水

10分後

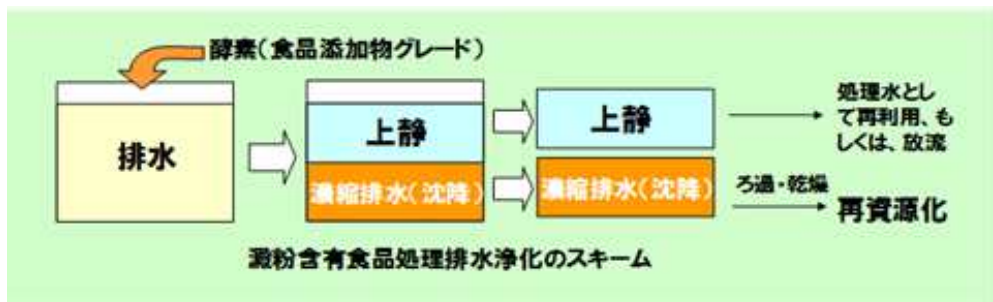
60分後

90分後









酵素(プロテアーゼ)処理による茹で汁浄化試験

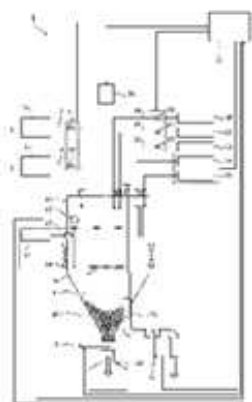
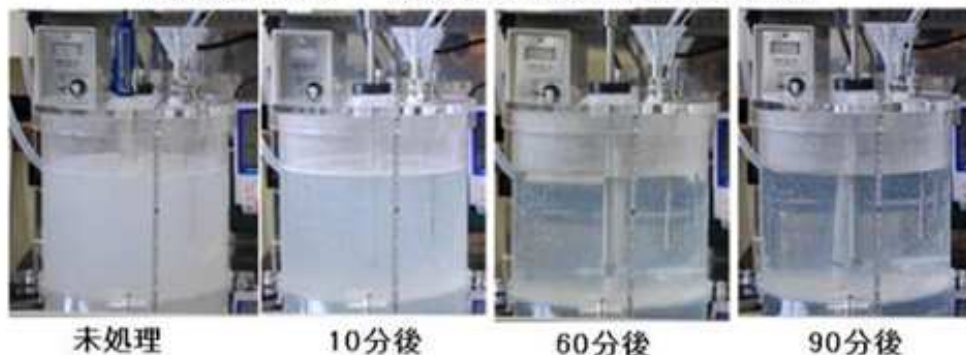


図1: 茹で麺排水処理装置



図2: 茹で麺排水処理試験(3時間後(右))

### (1) 概要

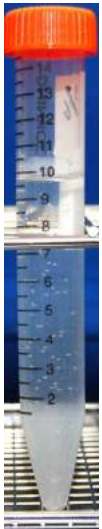
プロテアーゼ(酸性プロテアーゼ)含有酵素剤添加により、澱粉含有排水中に含まれる澱粉粒子(固形成分)に対して、凝集・沈降性を付与し、澱粉粒子分離・回収を可能にする技術。この添加酵素は、澱粉粒子表層タンパク質を分解し、さらにリン酸イオンとの反応により、負電荷を有するモノリン酸エステル型デンプンを生成する。このリン酸基と澱粉含有排水に含まれる金属陽イオンとの静電的相互作用により、澱粉粒子が凝集し、自重により沈降する。

### (2) 特徴

- 沈降させた固形成分(澱粉粒子)を除去した上澄液を、そのまま処理水として事業所内での再利用が可能である。
- 固形成分の再利用(バイオエタノール、生分解性プラスチック等の糖質原料として)が容易となる。
- 動力・熱源を必要とする事が殆ど無く、消耗品(交換部品)費等が発生しない。自動化により、無人化運転が可能。(人件費の削減)
- 既存の活性汚泥処理負担を低減を可能にする他、凝集剤添加による処理方法に比べ、処理汚泥容量の削減が可能。

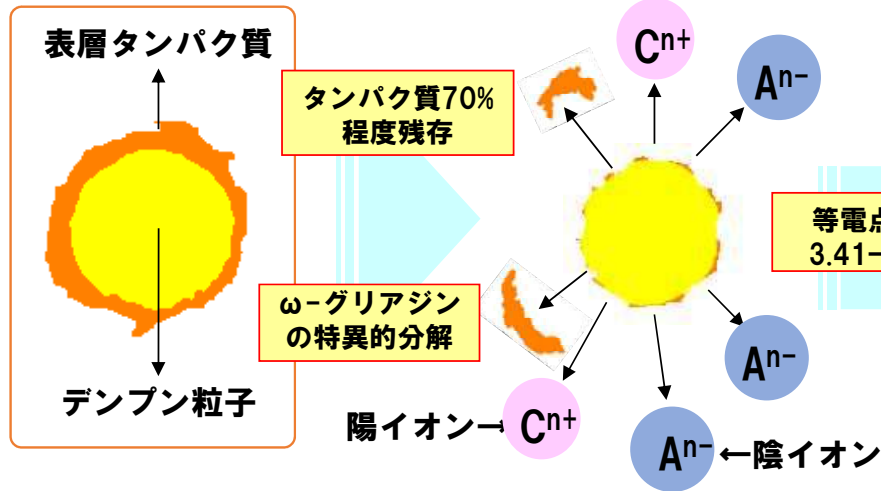
### (3) 利用分野

- 製麺事業所(うどん、蕎麦)、● 麺飯店(うどん、蕎麦のゆで汁の処理)、● 米菓製造事業所(餅、あられ等)、● 製粉事業所(米粉、小麦粉、馬鈴薯澱粉等)

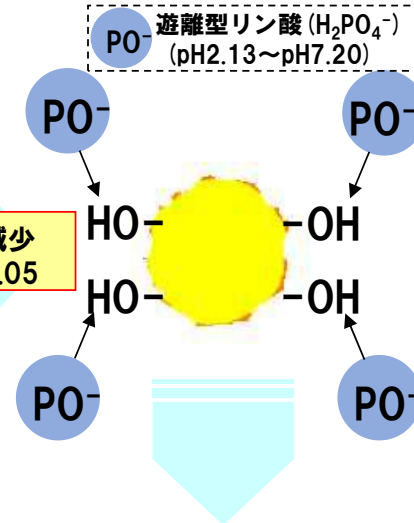


### 茹で麺排水中固形成分

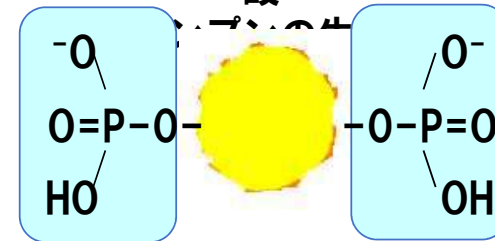
#### ①タンパク質の分解・除去とイオン種の放出



#### ②リン酸イオンの再吸着

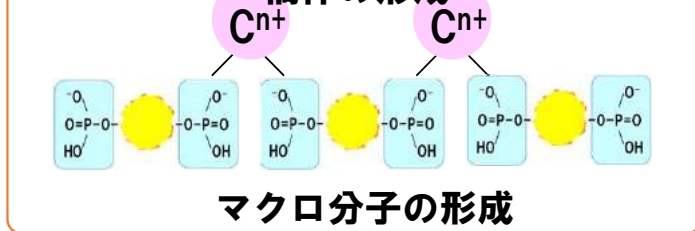


#### ③モノエステル型リン酸



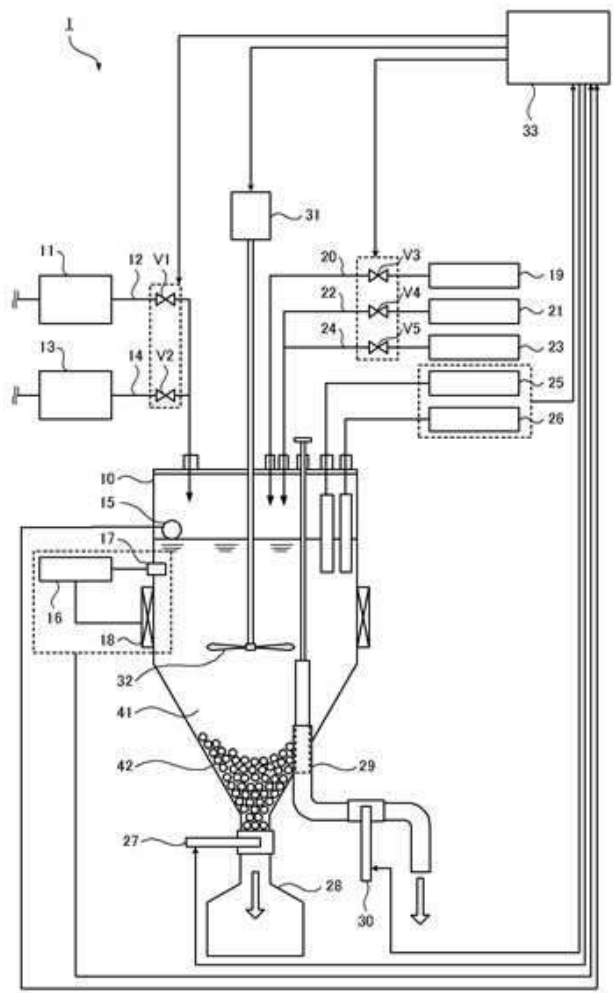
負電荷の形成

#### ④モノエステル型リン酸デンプン架橋体の形成



凝集・沈降性の獲得→濁度・全炭素量値の低下

茹で麺（デンプン含有）排水の浄化機構



【特許番号】 特許第5829800号 【発明の名称】 茹で麺廃水の浄化装置



# 金属、プラスチック、ゴム、高強度繊維を普通の接着剤で接着—新しい材料で軽量化！

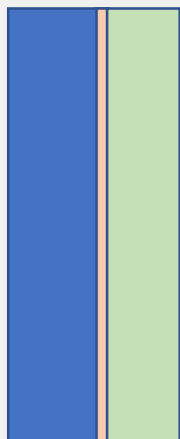
山形大学客員教授（有機材料システム研究科） 金澤 等

接着の必要性

古代から、仏像、建築、家具、種々の機器に使われる。

現在、国と産業界の方針で、自動車の軽量化のための接着強化で、莫大な費用が使われている。

接着とは？



2つの材料AとBの間に接着剤をはさんで、A とBをとれなくすること、

多くの場合、材料の粗面に接着剤が食いこむ形・・・アンカー効果:これでは長く持たない！



材料AとBと接着剤の間に、分子レベルでの引力が働かないと、本当に着くことはない。

分子に詳しい化学者の必要性！！

接着しない材料は表面を変えないと不可能

接着剤を改良しても理論的に限界がある



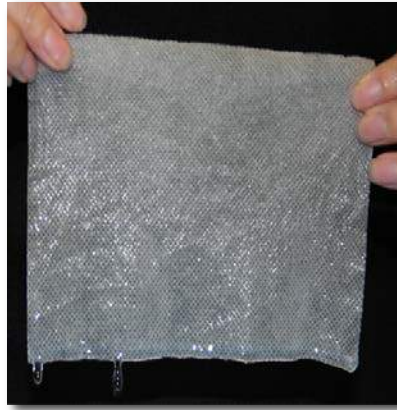
表面を変える



材料を水に濡れるようにする事が必須である。



未処理 PP fabric



改質 PP fabric

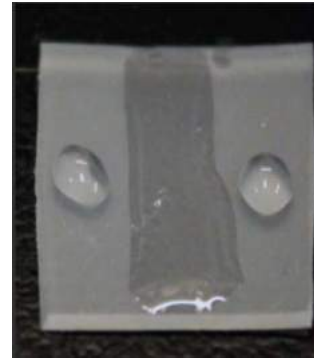
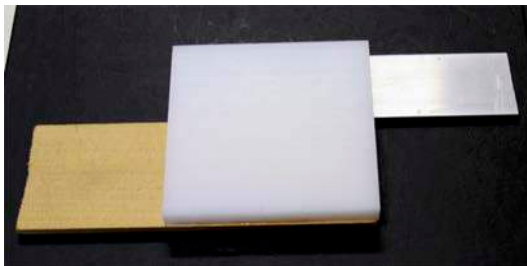
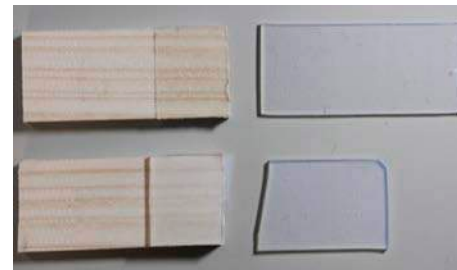


Fig1 改質部分だけが水に濡れるシリコン

その結果、本来、接着できない物が接着できるようになる！



超高分子量PE(UHMWPE)  
と木板/アルミ板

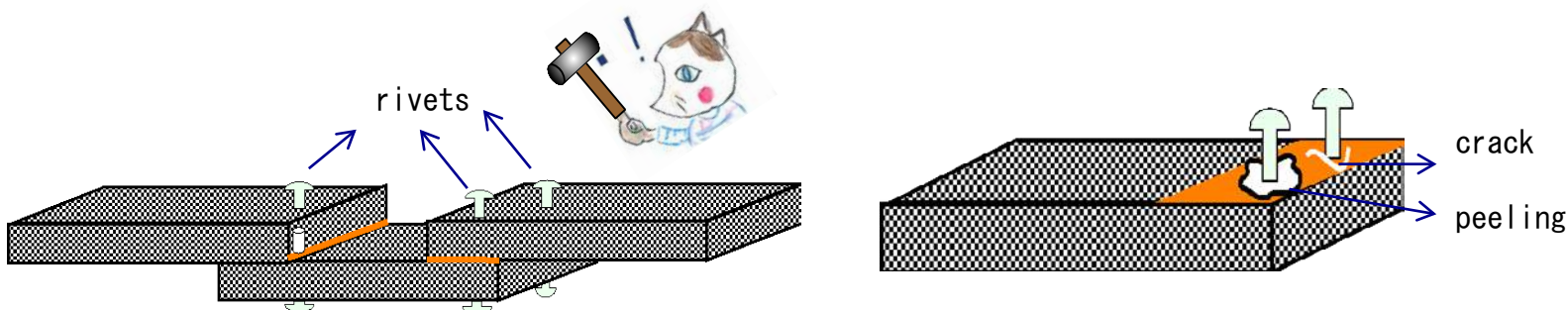


シリコンゴムと木板



- CFRP
- CFRP-sandwich
- Aluminum
- GFRP

ボーイング787の50%重量は 炭素繊維強化樹脂(CFRP)で出来ている。  
主翼は、20mのCFRP板を接着して、孔をあけて、リベットで補強されている



リベットの数は、20万本/機→強化のためだが、繊維材料を切っている、数が多いので重くなる。

リベットは、数年ごとに、打ち直しをしなければならない。

接着力をあげて、リベット数を減らす事が望ましい。

現在、30MPa程度で接着→これを50MPaまで上げた、ムラをなくし、耐久性も向上した。

## 材料の接着力を高める-あらゆる物の軽量化 → 省資源、低燃費、環境に貢献

- 1. 今、使われている物を、より強くする → 改善
- 2. 使いたくても使えない材料を使えるようにする → 革新

重い、水に弱い、曲げられない物 → 軽い、曲げられる、耐久性

**3. 飛行機の技術は自動車に使える！**

平成30年8月2日  
山形大学

\* 詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 人文社会科学部公開講座を開催します

～「新聞記事で読み解く法律問題－法律って意外と面白いかも」～

民法・刑法・労働法・法哲学・国際取引法を専門分野にする教員が、それぞれの専門分野の視点から興味を持った最近の新聞記事を題材にして具体的で分かり易い講義を行います。

日 時：9月18日（火）、9月25日（火）、10月2日（火）、10月9日（火）、  
10月16日（火）の計5回、各回18：30～20：10

場 所：人文社会科学部1号館2階205教室

## 2. アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始

平成20年度からJICAと共同で実施しているアフリカの稲作技術者に対して行う研修を今年度も実施します。8月20日から約6週間にわたりアフリカ11カ国から11人を受け入れます。

研修期間：8月20日（月）～9月28日（金）

## 3. 東北6県の大学・短大によるシンポジウムを開催します

～「東北地方にある大学短大の魅力的な教育の取組」～

どなたでもご参加可能な山形大学教育開発連携支援センターが開催するシンポジウムです。

日 時：9月22日（土）13：30～16：30

場 所：山形大学小白川キャンパスA3（基盤教育3号館312教室）

定 員：100名（申込先着順）

## 4. 高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました

地域指向性プロジェクト「耳で読む太宰」の第一部として実施する第11回山形大学高校生朗読コンクールの本選出場者11名が決定しました。当日は群読劇の公演も行います。

日 時：9月9日（日）13：30～17：00

場 所：山形市中央公民館ホール

※入場無料（ただし、事前申込が必要です）

## 5. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

9月は「“月山”に学び、地域を知るIV」をテーマに様々な角度から月山の魅力について、お話しします。

[※裏面に続く](#)

## ※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

### ◎第9回多文化交流コンサート「山形から世界へ」のお知らせ

伝統楽器やダンス、歌など世界各国の留学生によるコンサートを開催します。

日時：8月4日（土）16：00～

場所：遊学館2Fホール

### ◎つるおか在来作物LAB～つなぐ・つむぐ食文化～

～学生たちが若い世代に向けて庄内の魅力をアピール！～

「山形大学と交流する会」の学生コーディネーターによるイベント。特に大学生や高校生など若い世代に地元の良さを再認識してもらうことを目的としています。

日時：8月9日（木）9：30～15：00

場所：山形大学農学部ほか

### ◎企業主導型保育所「つぼみ」開所式

「仕事と子育ての両立」を支援するため、山形大学と山形銀行が連携して整備を進めてきた、企業主導型事業所内保育所「つぼみ」が山形大学小白川キャンパス内に完成しました。平成30年9月1日の開所に先駆け、竣工式と内覧会を実施します。（取材申込要 TEL.023-628-4937）

日時：8月8日（水）10：00～竣工式、14：00～内覧会

場所：小白川キャンパス企業主導型保育所「つぼみ」

### ◎アフィニス夏の音楽祭 音楽交流プログラム

大学院地域教育文化研究科学生のたちが、実行委員会メンバーとして音楽交流プログラムの企画・運営に携わっています。

「gura で♭(フラット)! 夕涼みコンサート」

日時：8月21日（火）19：00開演（18：30開場）

会場：山形市旅籠町「gura」

「あるあーる de つながーる ふれあいコンサート」

日時：8月22日（水）11：00開演（10：30開場）

会場：寒河江市「gallery & café あるあーる」



平成30年（2018年）8月2日

## 人文社会科学部公開講座を開講します

### 「新聞記事で読み解く法律問題－法律って意外と面白いかも－」

#### 【本件のポイント】

- 法律を専門とする教員が、新聞記事を題材とした、わかりやすい講義を行います。
- 法律問題の詳細やその背景を知ることによって、その問題の本質に迫ります。

#### 【概要】

人文社会科学部では、9月18日（火）より5回にわたって公開講座「新聞記事で読み解く法律問題－法律って意外と面白いかも－」を開講します。

本講座では、民法・刑法・労働法・法哲学・国際取引法を専門分野にする教員が、それぞれの専門分野の視点から興味を持った最近の新聞記事を題材にして具体的で分かり易い講義を行います。

日頃から新聞記事で良く目にする法律問題の詳細やその背景を知ることによって、その問題の本質が見えてくるはずです。グローバル化や価値観の多様化が加速するわれわれの社会を考える上で、見慣れている法律問題に関する新聞記事をもう一度読み直してみることは有意義なことではないでしょうか。

【日程】 9月18日（火）、9月25日（火）、10月2日（火）、10月9日（火）、10月16日（火）  
各回 18時30分から20時10分まで

#### 【各回テーマ・講師】

- 9月18日（火） 海外M&Aにおける法律問題  
講師：荒井 太郎 教授（国際取引法／人文社会科学部担当）
- 9月25日（火） 「性の平等」と日本社会  
講師：池田 弘乃 准教授（法哲学／人文社会科学部担当）
- 10月 2日（火） 性犯罪の厳罰化  
講師：西岡 正樹 准教授（刑法学／人文社会科学部担当）
- 10月 9日（火） 仮想通貨と消費者取引  
講師：小笠原 奈菜 准教授（民法／人文社会科学部担当）
- 10月16日（火） 「働き方改革」と長時間労働－働きすぎは改善されるのか？  
講師：阿部 未央 准教授（労働法／人文社会科学部担当）

【会場】 山形大学人文社会科学部1号館2階205教室

【対象/定員】 一般市民、大学生、高校生／定員30名

【受講料】 2,000円（大学生、高校生は無料）

#### 【申込方法】

パンフレットに付属の「払込取扱票」での申込みとなります。先着順に受け付け、受付後に受講証をお送りします。  
なお、大学生・高校生はメール或いは電話で、住所、氏名、電話連絡先を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ

人文社会科学部事務室総務担当（担当 芳賀）

TEL 023-628-4203 メール jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成30年8月2日

## アフリカ地域の農業関係者が山形大学農学部で研修を開始

### 【本件のポイント】

- アフリカの稲作技術者に対して行う収穫後処理に関する6週間の研修。
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）と大学による研修事業で、稲作技術者を対象としたものは、国内で山形大学のみが実施。
- 平成20年度から実施しているこの研修では、これまでに156名が修了。アフリカ地域の発展に貢献している。



### 【概要】

8月20日（月）より、アフリカ11ヵ国11名の研修生が本学農学部において『アフリカ地域稲作収穫後処理コース』研修を開始します。日本有数の米どころ庄内で、約6週間にわたり稲作収穫後理論の学習、稲刈実習、乾燥施設・農業機械工場の見学などを行います。

本学では平成20年度から独立行政法人国際協力機構（JICA）と共同でアフリカ諸国を対象とした米生産に関する様々な研修を実施してきました。今年も山形県、秋田県、鶴岡市、JA鶴岡、地元生産者の協力を得て本研修を実施し、研修最終日には、研修生がそれぞれの国の課題改善と技術普及プランの発表を行います。

### 【背景】

アフリカ開発会議（TICAD）において、日本政府はアフリカ諸国の稲作発展に貢献することを約束しています。このような背景のもとで、本学農学部と独立行政法人国際協力機構（JICA）は、平成20年よりアフリカ諸国を対象にした米生産に関するさまざまな技術研修を実施してきました。現在、稲作技術者を対象としたJICAと大学による研修事業は国内で山形大学のみが実施しています。

### 【研修スケジュール等】

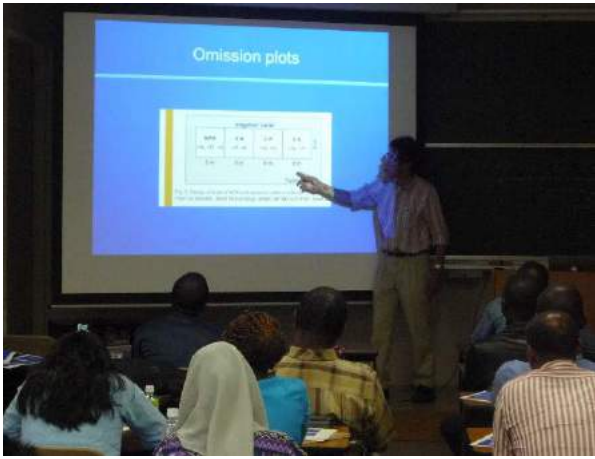
- ★研修期間：平成30年8月20日（月）～9月28日（金）
- ★参加国：ウガンダ、エチオピア、ガンビア、ガーナ、ザンビア、シエラレオネ、スーダン、タンザニア、ブルンジ、マラウイ、ナイジェリア、
- ★使用言語：英語
- ★コーディネーター：角田 憲一 准教授（栽培土壌学）  
片平 光彦 教授（生産機械システム工学）  
佐々木 由佳 准教授（栽培土壌学）  
角田 毅 教授（農業経営学）

### 【今後の展望】

本研修ではこれまでに156名もの修了生を送り出しており、本学で得られた知識や技術はアフリカの多くの国々へと広がっていると思われます。今後もこの研修事業を継続することにより、山形大学がアフリカの稲作発展に対して貢献していきたいと考えています。

お問い合わせ

学術研究院准教授（農学部担当）角田 憲一／農学部企画広報室担当 内田  
TEL 0235-28-2910 メール nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





## 研修日程

※予定は変更になる場合がございます

月日	曜	午前 (9:00~12:00)		午後 (13:30~16:30)	
		内 容	場 所	内 容	場 所
8月20日	月	学部挨拶・大学案内・自己紹介・研修の趣旨説明・スケジュール説明、大学の施設案内	農学部1号館2階会議室		
8月21日	火	カントリーレポートの紹介	5階リフレッシュルーム	ポストハーベストの問題分析	3.5階リフレッシュルーム
8月22日	水	ブレアクションプランの紹介	5階リフレッシュルーム	ブレアクションプランの分析	3.5階リフレッシュルーム
8月23日	木	稲作のポストハーベスト(1)	5階リフレッシュルーム	稲作のポストハーベスト(2)	5階リフレッシュルーム
8月24日	金	日本の稲作の農業機械化(1)	5階リフレッシュルーム	日本の稲作の農業機械化(2)	5階リフレッシュルーム
8月25日	土				
8月26日	日				
8月27日	月	大規模稲作見学(秋田県八郎潟)		大規模稲作見学(秋田県八郎潟)	
8月28日	火				
8月29日	水	糸状菌による米の変質	5階リフレッシュルーム	イネ病害の視察	圃場
8月30日	木	農業経営と稲作(1)	5階リフレッシュルーム	農業経営と稲作(2)	5階リフレッシュルーム
8月31日	金	日本の灌漑	5階リフレッシュルーム	灌漑設備見学	月山ダム、頭首工
9月1日	土				
9月2日	日				
9月3日	月	農業機械工場見学(1)	山形県農業機械展示会(中山町)	農業機械工場見学(2)	山本製作所
9月4日	火	圃場を中心とした稲作作業	5階リフレッシュルーム	国際協力理解授業(鶴岡市立朝陽第三小学校)13:00~	朝陽第三小学校
9月5日	水	庄内の育種の現況	水田農業試験場	庄内の農業の概要と庄内における稲作指導	庄内農業技術普及課
9月6日	木	収量と収量構成要素	202教室	水分と品質測定(実習)(1)	1509実験室
9月7日	金	松ヶ岡農機具収納庫	松ヶ岡開墾記念館	アクションプラン準備(1)	
9月8日	土				
9月9日	日				
9月10日	月	稲生理生態の基礎と栽培技術	5階リフレッシュルーム	稲と水	5階リフレッシュルーム
9月11日	火	適期収穫期などの重要性、適期判定法	5階リフレッシュルーム	収穫適期判定(実習)	高坂農場
9月12日	水	圃場試験計画(1)	201教室	圃場試験計画(2) / 16:30~鶴岡市長表敬訪問	201教室、市役所6F会議室
9月13日	木	水分と品質測定(実習)(2)	1509実験室	生産者との情報交換会	鶴岡市内の農家
9月14日	金	アクションプラン中間報告	5階リフレッシュルーム	アクションプラン中間報告の検討	3.5階リフレッシュルーム
9月15日	土	わんぱく農業クラブ	高坂農場		
9月16日	日				
9月17日	月				
9月18日	火	アクションプラン準備(2)		小型機械を用いた水稻の収穫(実習)	高坂農場
9月19日	水	Site Specific Nutrient Management (1)	201教室	Site Specific Nutrient Management (2)	201教室
9月20日	木	営農からみたJAの役割について	5階リフレッシュルーム	JA鶴岡施設見学	JA鶴岡
9月21日	金	アクションプラン準備(3)		小型機械を用いた収穫調整(実習)	高坂農場
9月22日	土				
9月23日	日				
9月24日	月				
9月25日	火	農業機械工場見学(3)	マメトラ	農業機械工場見学(3)	石井製作所
9月26日	木	アクションプランに関する総合討論(1)	5階リフレッシュルーム	アクションプランに関する総合討論(2)	3.5階リフレッシュルーム
9月27日	木	アクションプラン準備(5)		アクションプラン準備(6)	
9月28日	金	アクションプラン最終報告(1)	農学部1号館2階会議室	アクションプラン最終報告(2)、評価会議、閉校式	農学部1号館2階会議室

平成30年（2018年）8月2日

## 東北6県の大学・短大によるシンポジウムを開催します

～「東北地方にある大学短大の魅力的な教育の取組」～

### 【本件のポイント】

- 東北地方の6県に所在する大学・短大から魅力ある教育の取組を紹介。
- 大学関係者だけでなく、高校生の方、高校の先生、保護者の方など、大学教育に関心のある方ならどなたでも参加いただける参加費無料のシンポジウム。
- 大学相互、ならびに大学と高校関係者の活発な意見交換を通して、東北地方の高等教育の発展に資する。

### 【概要】

山形大学教育開発連携支援センターでは、東北地方の6県に所在する大学・短大における魅力ある教育の取組について、シンポジウムを開催します。情報を共有し、大学相互並びに大学と高校関係者の活発な意見交換を通して、自学の教育改善・改革に活かしてもらうことを狙いとしており、東北地方の高等教育の発展の一助を担うことを期待するものです。高校生をはじめ、高校の進路指導の教員や保護者の方、大学教育に関心のある方ならどなたでも参加いただけます。

### 【シンポジウム「東北地方にある大学・短大の魅力的な教育の取組」】

- 日時：平成30年9月22日(土)13時30分～16時30分
- 場所：山形大学小白川キャンパス A3（基盤教育3号館 312教室）
- 対象：高校生、高校の進路指導の教員や保護者の方、大学教育に関心のある方
- 参加費：無料
- 定員：100名（申込先着順）
- 内容：13時30分 開会、開催趣旨説明  
13時50分～事例報告（各発表15分、各紙次応答5分）
  1. 桜の聖母短期大学（福島県）
  2. 尚絅学院大学（宮城県）
  3. 東北芸術工科大学（山形県）
  4. 青森中央学院大学（青森県）
  5. 国際教養大学（秋田県）
  6. 岩手大学（岩手県）

16時00分～自由討論

16時30分 閉会

- 申込方法：EメールもしくはFAXにてお申し込みください。申込み〆切9/7（金）17時



### お問い合わせ

教育開発連携支援センター（小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当）  
TEL/FAX 023-628-4720 メール k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成30年（2018年）8月2日

## 高校生朗読コンクール本選出場者が決定しました ～地域指向性向上プロジェクト「耳で読む太宰」～

### 【本件のポイント】

- 第11回山形大学高校生朗読コンクールに、東北地区の高校生75名（17校）からの応募があり、本選出場者11名が決定しました。
- 地域指向性プロジェクト「耳で読む太宰」として実施する、第11回山形大学高校生朗読コンクール及び第7回群読劇の観覧者（400名程度）を募集しています。



### 【概要】

第11回山形大学高校生朗読コンクールに、東北地区の高校生75名（17校）からの応募があり、山形大学教員からなる予選審査委員会の選考により本選出場者11名が決定しました。9月9日（日）に行われる本選では、予選を通過した11名が、太宰治著『津軽』から、それぞれ異なる部分を朗読し、上位入賞を目指します。

山形大学高校生朗読コンクールは、平成20年度から東北地方の高校生を対象に実施しており、今回で11回目。平成24年度から平成29年度まで東日本大震災により地域が分断された東北に文化によるネットワークを構築することを目的に、山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」として、群読劇の公演も同時開催で行ってきました。今年から、地域社会との連携をより深める事を目的にプロジェクトを一新し、「山形大学地域指向性向上プロジェクト」として実施します。同時開催の群読劇の観覧も可能な、一般の観覧者400名程度を募集しています。

### 【開催要項】

日時：平成30年9月9日（日） 13時開場 13時30分開演 17時終了予定  
会場：山形市中央公民館ホール（山形市七日町一丁目2番39号 アズ七日町6階）  
入場料：無料（事前申込が必要です。）

#### 第1部 第11回山形大学高校生朗読コンクール

本選出場者：朗読順

- |                 |        |                |        |
|-----------------|--------|----------------|--------|
| 1. 山形県立寒河江高等学校  | 岩井 祐佳里 | 7. 福島県立福島東高等学校 | 阿蘇 あかり |
| 2. 青森県立北斗高等学校   | 伊藤 有郎  | 8. 宮城県仙台向山高等学校 | 佐々木 望都 |
| 3. 岩手県立盛岡第二高等学校 | 鹿糠 由紀乃 | 9. 山形県立山形東高等学校 | 松木 花菜子 |
| 4. 山形県立山形北高等学校  | 田村 萌子  | 10. 青森明の星高等学校  | 伊藤 史恩  |
| 5. 山形学院高等学校     | 今田 正宗  | 11. 青森明の星高等学校  | 菅原 菜々美 |
| 6. 常盤木学園高等学校    | 大宮 万奈  |                |        |

課題文：太宰治著『津軽』（出場者が各担当部分をそれぞれ朗読します。）

#### 第2部 第7回群読劇「走れメロス」上演

出演：磯部勉さん（俳優）、世古峻佑さん（俳優）、一般市民・山形大学学生 総勢32名

上演作品：太宰治著『走れメロス』

※基盤共通教育「舞台をつくる2018」（山本陽史担当）を受講する山形大学学生が企画・運営します。

### 【申込方法】

下記の申込先に、電話、FAX または電子メールのいずれかの方法にてお申込みください。

必要事項：①申込者氏名（同行者がいる場合は代表の方）、②氏名のよみがな

③申込者（代表者）電話番号、④同行者氏名（複数の場合）※代表者のほか5名まで同行可能です。

お問い合わせ 山形大学 EM 部社会連携課  
電話：023-628-4016（平日9時～16時）FAX：023-628-4144  
eメール：embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
（お申し込み受付の締切：9月7日（金）16時まで）



# — 耳で読む太宰 —

第一部：第11回山形大学

高校生朗読コンクール

第二部：群読劇「走れメロス」

【日時】平成30年9月9日（日）

13：00開場

13：30開演

終演予定

17：00

【会場】

山形市中央  
公民館ホール  
(アズ七日町6階)

入場  
無料

【入場方法】

お申し込みが必要です。下記の【問い合わせ先】に  
電話、FAXまたは電子メールでお申し込みください。必要事  
項は裏面をご覧ください。

(お申し込み受付の締切：9月7日（金）17：00まで)

【問い合わせ・お申し込み先】

山形大学EM部社会連携課

電話：023-628-4016（平日9時～16時）

FAX：023-628-4144

eメール：embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：国立大学法人 山形大学



### 【申し込み必要事項】

- ・ 申込者氏名（同行者がいる場合は代表の方）
- ・ 氏名のよみがな
- ・ 申込者（代表者）電話番号
- ・ 同行者氏名（複数の場合）

※代表者のほか5名までご同行いただけます。

・ 第一部・  
高校生朗読コンクール  
課題「津軽」

・ 第二部・  
群読劇「走れメロス」

・ 第三部・  
審査結果発表・表彰式

### 【朗読コンクール・群読劇について】

高校生朗読コンクールは例年東北出身の作家の文章・東北を描いた作品を課題として取り上げ、将来の東北を担う若い才能を発掘しています。今年度は予選を通過した東北地方の高校生たちが青森県出身の作家太宰治の「津軽」をリレーで朗読します。また、群読劇でも太宰治の代表作「走れメロス」を取り上げ、演出に酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として磯部勉さん、世古峻佑さんをお迎えし、山形の一般市民の皆さま、山形大学学生約35名からなる群読隊とともに舞台を作り上げます。



【演出】佐藤正文（さとう まさふみ）

山形県酒田市出身。演技トレーナー、演出家、俳優。尚美学園大学芸術情報学科客員教授、日本大学芸術学部非常勤講師。桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座、安部公房スタジオを経てフリー。俳優座劇場プロデュース、無名塾、地人会などの公演に多数出演。米国コロンビア大学の安部公房シンポジウムで演技術を紹介するなど安部システムの普及に努める。平成26年から山形市舞台芸術セミナー「朗読講座」の講師を務める。朗読劇・群読劇を多数演出している。

【出演】磯部 勉（いそべ つとむ）

東京都出身。劇団俳優座出身。俳優座公演のシェイクスピア作品ではロミオ役やハムレット役などを務めた。また、蜷川幸雄作品や、清水邦夫の木冬社公演などに多数出演。谷崎潤一郎原作の舞台『細雪』（東宝）では長女・鶴子の夫（辰雄）を長年にわたり演じている。『水戸黄門』、大河ドラマ『軍師官兵衛』などの時代劇や、海外ドラマ・映画の吹替えも多く、ハリソン・フォード『スター・ウォーズ』やメル・ギブソン『リーサル・ウェポン』の声を担当している。



【出演】世古 峻佑（せこ しゅんすけ）

福島県いわき市出身。日本大学芸術学部卒業。『ダメな私に恋してください』『重版出来』（TBS）、放送90年大河ファンタジー『精霊の守り人』（NHK）、『コード・ブルー-ドクターヘリ緊急救命』（フジテレビ）など、テレビドラマに出演。舞台ではHAT『漫劇!! 手塚治虫第一巻』、天井『バラとスッポンへようこそ』に出演するほか、朗読公演、CMなど幅広く活躍している。





平成30年9月

# やまがた夜話

## 「“月山”に学び、地域を知る IV」

地形・景観、火山、防災、植生、歴史・民俗、文学などのいろいろな面から“月山”とその周辺を巡検し総合的に調査・研究を続けている山形大学月山マイスター。そして、「月山の魅力」を発信してきました。

横断的に学ぶことで、住み慣れた地域を新しい視点で見直すことも可能となり、「地域興し」の一助にもつながるのではないのでしょうか。

### 9月 5日(水) 『月山のサワグルミ』

講師: 児玉 勝義 氏(月山マイスター)

### 9月12日(水) 『固雪の六十里越街道を歩く』

一田 麦俣 ~ 湯殿山参籠所 ~

講師: 田中 秀樹 氏(月山マイスター)

### 9月19日(水) 『立谷沢川はおもしろい!』

講師: 八木 浩司 氏(山形大学・教授)

### 9月26日(水) 『「温泉」だけではない“肘折”の魅力』

講師: 小林 孝一 氏(月山マイスター)

※時間はすべて18:30~19:30です。

「寒河江川と月山」溝延橋から 田中秀樹氏 撮影  
日本遺産パンフとHP「出羽三山」文化庁発行 掲載

**会場** ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

**アクセス** 山形駅東口より徒歩1分

**対象** 高校生・学生・一般市民

**お申し込み** チラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送、メール等でお申し込みください。

**入場無料** 定員:50名



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820  
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





FAX:023-628-4820

## 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

### やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。
	<input type="checkbox"/> 平成30年 9月 5日(水) 講師: 児玉 勝義 氏
	<input type="checkbox"/> 平成30年 9月12日(水) 講師: 田中 秀樹 氏
	<input type="checkbox"/> 平成30年 9月19日(水) 講師: 八木 浩司 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	※月山マイスターの方は、この欄に月山MSとお書きください。

・受講申込者が定員を超えた場合は、入場をお断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

#### 【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



The 5th Anniversary  
YAMAGATA  
アフィニス  
夏の音楽祭  
2018山形  
The 38th Affinis Music Festival

音楽交流  
プログラム

gura

でb(フラット)!

夕涼みコンサート

8/21 TUE 19:00 開演  
(18:30開場)

[会場] gura yamagata (旅籠町)

[出演] アフィニス 弦楽八重奏メンバー

[ゲスト出演] キラキラ会

(山響創立名誉指揮者 村川千秋主宰)

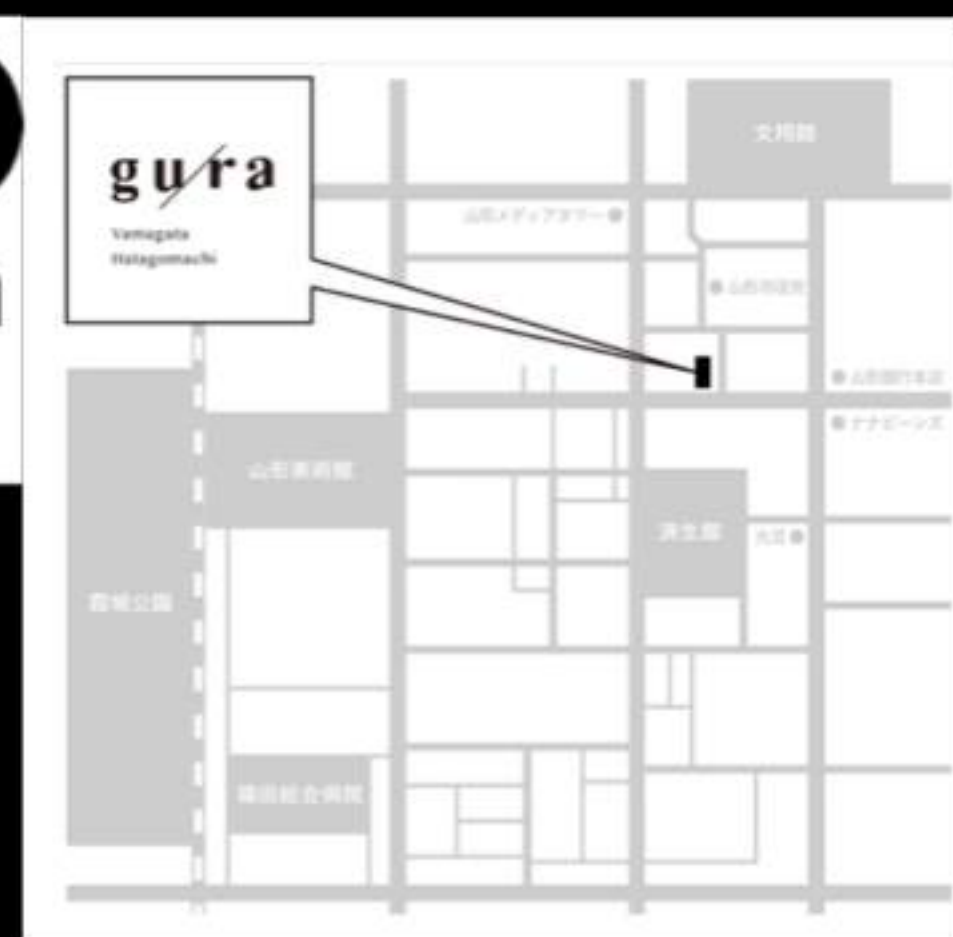
★入場無料★



- ♪ メンデルスゾーン/弦楽八重奏変ホ長調op.20 より
- ♪ モーツァルト/アイネクライネナハトムジーク第1楽章

ほか

※ 曲目は変更の場合がございます





Gallery&Cafe

あるある



de つなげる

# ふれあいコンサート



招聘演奏家

フリッツ・ダムロウ  
(トランペット)



8/22 WED 11:00 開演  
(10:30開場)

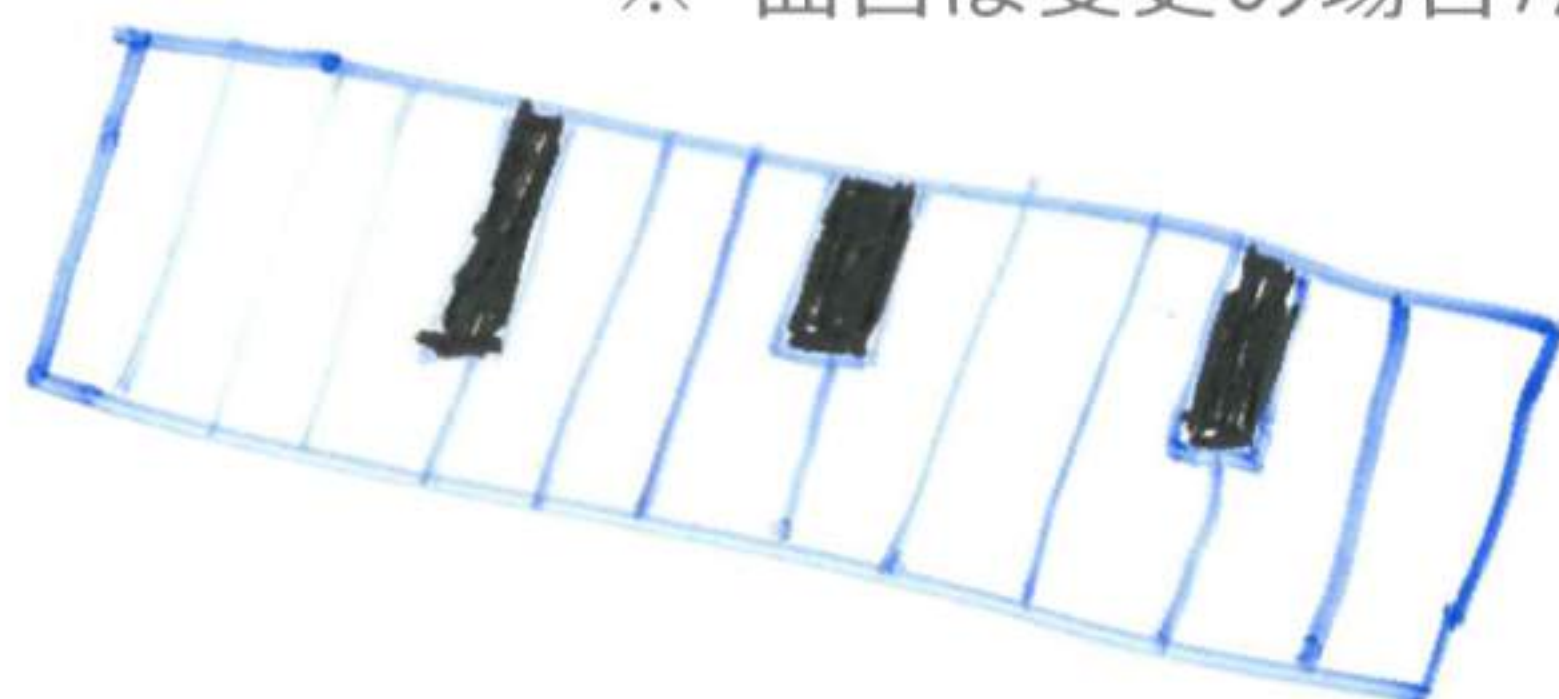
[会場] gallery & café あるある (寒河江市)

[出演] アフィニス 金管五重奏メンバー

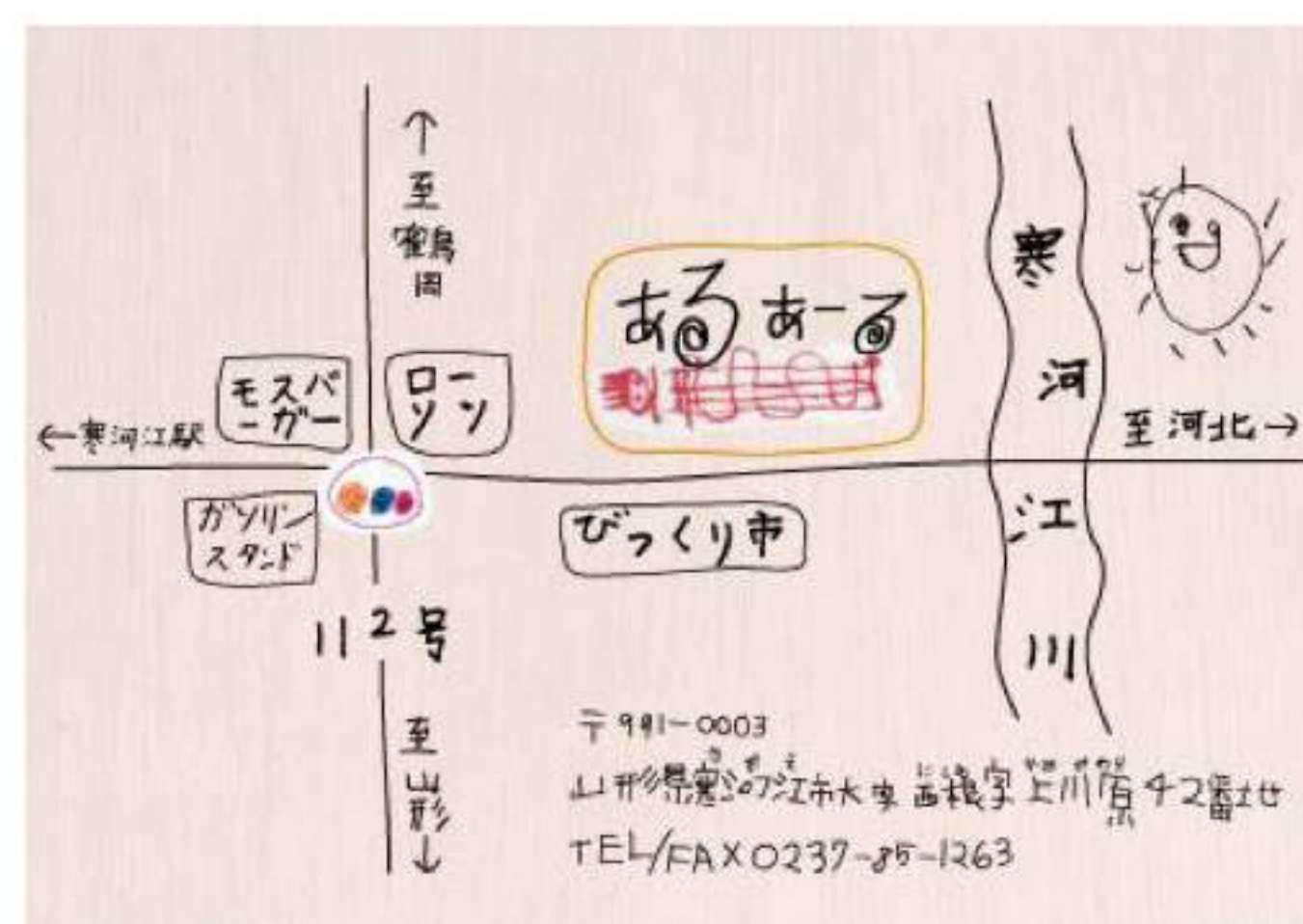
[ゲスト出演] 大泉真帆  
(さくらんぼ共生園)

## ♪ 入場無料 ♪

- ♪ バーンスタイン/ダンス組曲
  - ♪ 黒人霊歌/ジャスト・ア・クローサー・ウォーク ほか
- ※ 曲目は変更の場合がございます



(イラスト：さくらんぼ共生園)



お車でお越しの際は  
びっくり市の駐車場を  
ご利用ください